

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年3月12日 (2015.3.12)

【公開番号】特開2013-250862(P2013-250862A)
 【公開日】平成25年12月12日 (2013.12.12)
 【年通号数】公開・登録公報2013-067
 【出願番号】特願2012-126052(P2012-126052)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)
 G 0 6 F 3/048 (2013.01)
 H 0 4 M 1/00 (2006.01)
 H 0 4 M 11/00 (2006.01)
 G 0 6 F 19/00 (2011.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 3 8 0 D
 G 0 6 F 3/048 6 5 1 A
 H 0 4 M 1/00 R
 H 0 4 M 11/00 3 0 1
 G 0 6 F 19/00 1 3 0
 G 0 6 F 17/30 2 1 0 A
 G 0 6 F 17/30 3 4 0 B
 G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成27年1月22日 (2015.1.22)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

テキスト情報からユーザの体験を示す体験情報を抽出する体験抽出部と、
 センサ情報から行動パターンを抽出する行動抽出部と、
 体験情報と行動パターンとの対応関係を示す関係情報に基づいて前記センサ情報から抽出された行動パターンに対応する体験情報を抽出する対応体験抽出部と、
 前記テキスト情報から抽出された体験情報に関する情報と、前記行動パターンに対応する体験情報に関する情報とを併せて表示させる表示制御部と、
 を備える、
 情報処理装置。

【請求項 2】

前記体験抽出部は、体験の種類、体験の場所、体験の時間、体験の対象物から選択される少なくとも 1 つの情報を前記体験情報として前記テキスト情報から抽出する、
 請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御部は、前記センサ情報から抽出される行動パターンに対応する体験情報に関する情報を表示させ、ユーザが詳細表示の操作を行った場合に、前記テキスト情報から抽出される体験情報に関する情報を表示させる、
 請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

ユーザが保持する端末装置に搭載されたセンサが検出したセンサ情報を取得するセンサ情報取得部と、

前記ユーザが入力したテキスト情報を取得するテキスト情報取得部と、
をさらに備え、

前記体験抽出部は、前記テキスト情報取得部により取得されたテキスト情報から前記体験情報を抽出し、

前記行動抽出部は、前記センサ情報取得部により取得されたセンサ情報から前記行動パターンを抽出する、

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記センサ情報から抽出された行動パターンが非日常的であるか否かを判定する非日常行動判定部をさらに備える、

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記非日常行動判定部は、前記テキスト情報から抽出された体験情報が非日常的であるか否かをさらに判定する、

請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記表示制御部は、前記非日常行動判定部により非日常的であると判定された場合に、当該判定の結果に対応する体験情報に関する情報を強調表示させる、

請求項 5 または 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記非日常行動判定部は、日常的に抽出される時間帯とは異なる時間帯に抽出された体験情報又はいずれの時間帯にも抽出されなかった体験情報に対応する行動を非日常的と判定する、

請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記非日常行動判定部は、日常的に抽出される体験の種類とは異なる種類の体験情報に対応する行動を非日常的と判定する、

請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

テキスト情報からユーザの体験を示す体験情報を抽出するステップと、

センサ情報から行動パターンを抽出するステップと、

体験情報と行動パターンとの対応関係を示す関係情報に基づいて前記センサ情報から抽出された行動パターンに対応する体験情報を抽出するステップと、

前記テキスト情報から抽出された体験情報に関する情報と、前記行動パターンに対応する体験情報に関する情報とを併せて表示させるステップと、

を含む、

情報処理方法。

【請求項 11】

テキスト情報からユーザの体験を示す体験情報を抽出する体験抽出機能と、

センサ情報から行動パターンを抽出する行動抽出機能と、

体験情報と行動パターンとの対応関係を示す関係情報に基づいて前記センサ情報から抽出された行動パターンに対応する体験情報を抽出する対応体験抽出機能と、

前記テキスト情報から抽出された体験情報に関する情報と、前記行動パターンに対応する体験情報に関する情報とを併せて表示させる表示制御機能と、

をコンピュータに実現させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 5】

テキスト情報取得部 1 9 1 は、ユーザが入力したテキスト情報を取得する。例えば、テキスト情報取得部 1 9 1 は、ユーザがテキストを入力するための入力デバイスであってもよいし、ソーシャルネットワークサービスやアプリケーションからテキスト情報を取得する情報収集デバイスであってもよい。ここでは、説明の都合上、テキスト情報取得部 1 9 1 がソフトウェアキーボードのような入力手段であると想定して説明を進める。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 9】

行動・体験照合部 1 9 6 により抽出された体験の情報及び当該体験に対応する行動パターンの情報は、非日常行動判別部 1 9 8 に入力される。行動パターンの情報が入力されると、非日常行動判別部 1 9 8 は、入力された行動パターンの情報が非日常的な行動を示すものであるか否かを判別する。また、体験の情報が入力されると、非日常行動判別部 1 9 8 は、入力された体験の情報が非日常的な体験を示すものであるか否かを判別する。